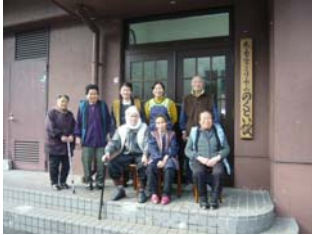


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	高齢化もなんのその！地域の“絆”再生事業
対象地域	岐阜県高山市高根地域
対象地域の概要	 【位置図】  【地域内の使われなくなった建物】  【冬季集合住宅に使用】
提案内容の概要	平成20年度に導入したモデル事業の展開で“地域コミュニティ”の再生事業を実施し、高齢者が安全で安心して暮らせ、また生きがいの創出の糸口を見出すことが出来た。入居者の家族からは、「こんなに安心して過ごせた冬は初めて」との喜びの声も多数あり、本事業の有効性を再認識したところである。また、この取組みは、全国的にも珍しくマスコミや行政関係者などの視察が数多くあったが、今後の事業確立に向けた更なる展開が必要である。 <u>この事業を通して、自分の生まれ育った地域に喜びを持ち続け、行政が21年度から高根地域に導入する集落支援員（総務省過疎問題懇談会が提唱した事業）との交流を図りながら、地域の高齢者は地域住民が支援し、守り続けていくことの重要性を再確認しながら更なる地域活性を目指す。</u>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	高山市の中でも高根地域の高齢化は著しく進行している。また、平成の大合併を機に旧高山市を中心とした人口移動が生じ、現時点では500人（合併時と比較し約20%減）を切っている。現在、人口移動は落ち着いた状態にあり、今後は自然動態による人口減少により地域が徐々に衰退していくと予想される。また、この地域は福祉ニーズを満たす社会資源も少ない。このことから、地域住民を中心とした高齢者の支援が今後益々必要である。
(2) 活動内容の案	活動①： のくとい館開設事業。 内容： 合併等の人口減少に伴い、町内にある小中学校が隣接する朝日町内の学校と統廃合され、町内の学校とそれに伴う施設が遊休となった。この遊休施設に教員住宅があり、この建物を利用して冬季間（12月～3月）、不安を抱えながら生活している独居・高齢者を入居させる。この地域の冬季は寒さが厳しく雪も多い。そのため、外出手段を持たない高齢者はこの期間、家に閉じこもり安否確認もままならない状況である。このような人や他地域で暮らす家族に、安心と快適な生活を提供する。 活動②： ボランティアによる入居者を中心とした地域高齢者の家屋の雪下ろしなどを実施。 内容： 雪の多いこの地域は、高齢者にとって雪下ろし作業は危険も伴い、重労働である。しかし、家族等の支援を受けられない高齢者は、自分たちで行わざるを得ない状況にある。このような方の雪下ろしを地域のボランティアを中心に行う。 活動③④： 高齢者でつくる「高根町の元気を出す会」の特産品づくり支援による生きがいの創出 ： 道の駅のほか、朝市での特産品の販売など、特産品の販路の拡大 内容： この地域は高齢者にとって冬季間、何もすることがなく閉じこもりがちである。そのような人たちが作る「高根町の元気を出す会」の特産品づくりの支援を行う。また、特産品の販路拡大を図り、安定させることで収入も安定し、冬の地域の産業として定着することが期待できる。

	活動⑤：集落支援員などとの協働による寒干大根の生産量向上に向けた大根生産用農地の拡大 内容： 今年度から行政の導入する集落支援員や長期ボランティアと協働し、寒干し大根の生産量の向上と、農家の生産参入を図ると共に、遊休農地を生産用農地に拡大する。
応募団体名	社会福祉法人 高山市社会福祉協議会
リンク	http://www.takayamashakyo.net/
部局／担当者名	地域福祉課 福祉係 中林 力
連絡先	(0577) 59-2500
推薦市町村名	岐阜県高山市